



Scanning Peripheral Anterior Chamber Depth Analyzer

SPAC

Aiming at new levels in quality



ReBorn

1 充実した検査項目

- ①前房深度
 - ・グレート算出
 - ・中心前房深度
- ②角膜曲率半径
- ③中心角膜厚
- ④隅角角度
- ⑤前房容積
- ⑥虹彩曲率半径*

*虹彩曲率半径とは：

測定プロットに対し、近似曲線の円を描き、その曲率半径を表しています。また、その円の形状が上向きの場合には「+」下向きの場合には「-」を数値の前に表記します。この数値のみで閉塞隅角緑内障を判別することはできませんが、その他のデータと合わせて評価することで、より精度の高い診察が可能です。

2 高精度な三次元画像解析

TAKAGI独自の解析プログラムを開発し、瞬時に高精度な三次元画像解析を可能にしました。前眼部OCTのような煩雑な設定は必要なく、顎台に顔を乗せてスタートボタンを押すだけで即座に測定を開始し、結果を導きだします。更に、従来の検査では難しい「定量化」を実現することにより、緑内障患者の継続的なフォローを容易にしました。

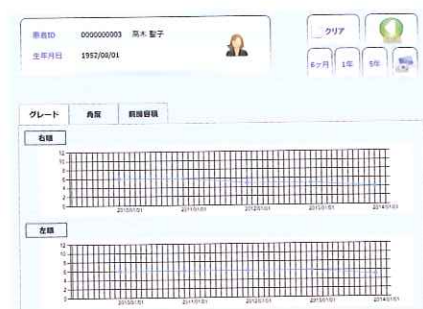
3 再現性の向上

スキャン光源を可視光から赤外光に変更し、更に測定ポイントを従来の2倍に増やすことで、より再現性の高い高精度なデータ解析が可能となりました。

4 経時変化の把握

隅角状態の経時変化を把握することは、緑内障診療にとって重要な項目の一つです。

この新しいSPACは本体にデータベースを搭載させ、データを蓄積しグレート及び隅角角度の経時変化グラフを瞬時に表示（6か月・1年・5年の選択可能）することで、インフォームドコンセントのツールとして安心と信頼を患者様に提供いたします。



5 タッチパネルによる簡単操作

検査開始・終了などの全ての操作は、10.4インチのタッチパネルで操作が可能となりました。また、検査眼のアライメントも画面をタッチしアライメントを実施できます。

直感的に操作できるようボタン等のレイアウトを配置し検査者がストレスなく、検査を行えるように設計されています。



6 用紙補充を簡単に

プリンターは、印刷ロール紙を入れてふたをするだけの、ドロップインプリンターに変更し、わずらわしい紙送り・紙通しをなくし検者への負担を低減しました。

また、別途プリンター*を用いることでA4サイズの検査結果を出力できます。

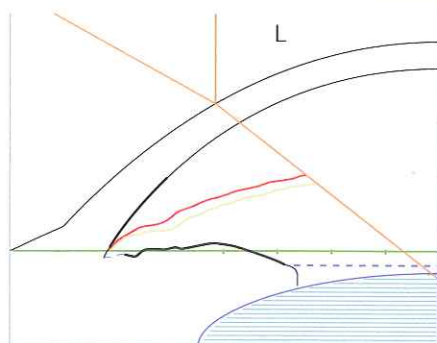
*プリンターの詳細につきましては、弊社営業までお問い合わせください。



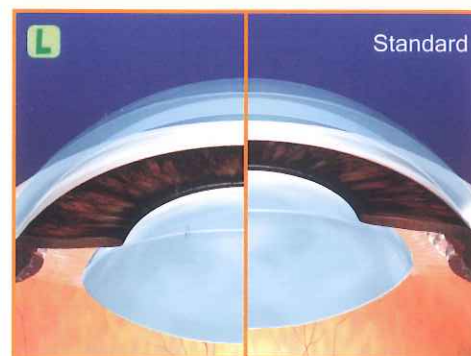
前房深度3Dイメージの搭載

●角膜中心から耳側周辺部まで連続的に測定したデータは以前のSPACと同様に結果を出力する方法と、患者様により簡単に説明できるよう、三次元で描かれた画像を出力する方法の2種類が搭載されています。

また、別途プリンターを用いることで、A4サイズで検査結果が出力可能です。



切替可能

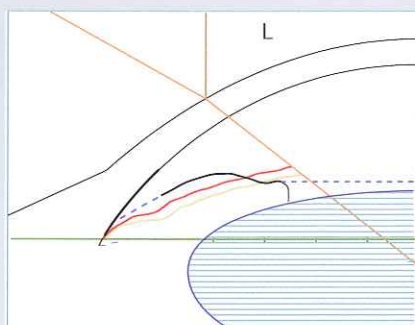


*3Dイメージを印刷する場合には、別途プリンターが必要になります。

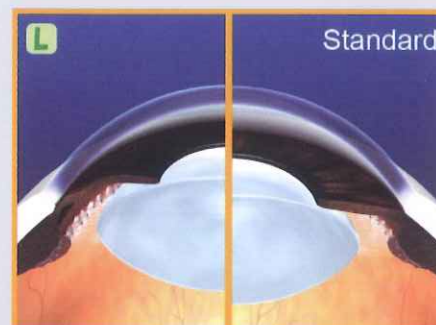
*プリンターの詳細につきましては、当社営業部までお問い合わせください。

サンプル症例

●プラトー虹彩



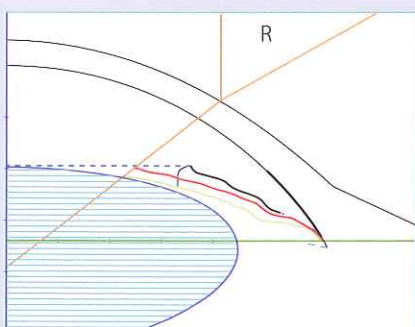
従来表示



3Dイメージ表示

●LI術前術後

術前

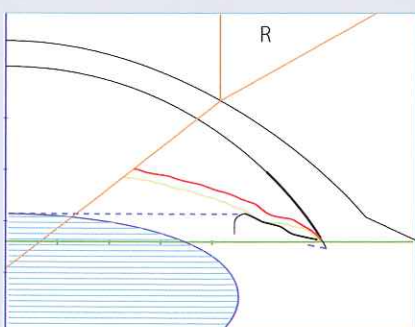


従来表示

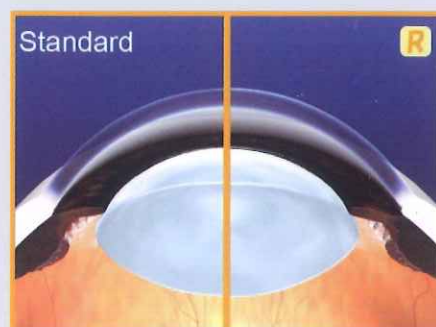


3Dイメージ表示

術後



従来表示



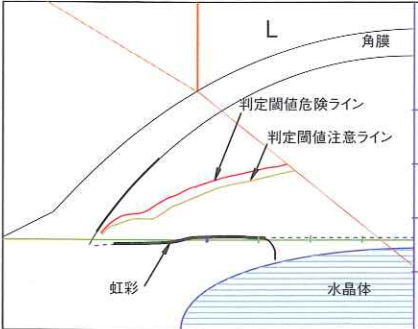
3Dイメージ表示



検査結果例

SPACでは検査結果から前房深度をGrade1(浅い)からGrade12(深い)の12段階に分類し従来より、より細かな前房深度評価を可能としています。更にGradeの数値の後にS(危険)又はP(注意)の表記を加え、閉塞隅角緑内障の危険性を判定しています。

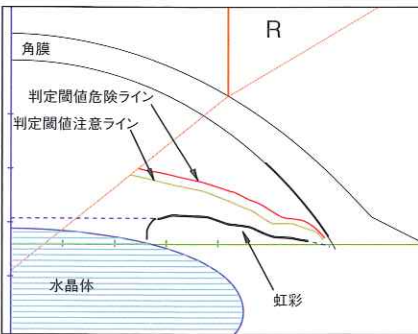
●Grade=9



距離	深さ	距離	深さ
	[mm]		[mm]
0	3.4	4.8	1.37
2.8	2.53	5.0	1.26
3.0	2.39	5.2	1.15
3.2	2.24	5.4	1.02
3.4	2.14	5.6	0.88
3.6	2.04	5.8	0.75
3.8	1.88	6.0	0.61
4.0	1.71	6.2	0.49
4.2	1.63	6.4	0.37
4.4	1.54		
4.6	1.46		

評価マーク(×または△)がどの測定ポイントにも表示されていません。このような結果の場合には評価グレードを示す数値にS(危険)やP(注意)は表示されません。

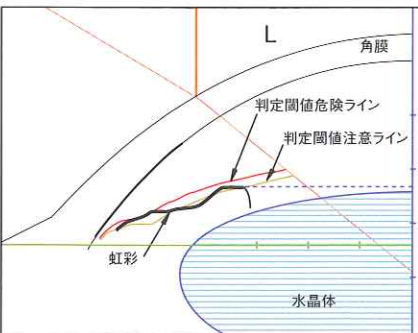
●Grade=7



距離	深さ	距離	深さ
	[mm]		[mm]
0	2.9	4.0	1.22
2.0	2.21	4.2	1.14
2.2	2.03	4.4	1.06
2.4	1.85	4.6	0.99
2.6	1.76	4.8	0.92
2.8	1.67	5.0	0.86
3.0	1.59	5.2	0.80
3.2	1.51	5.4	0.68
3.4	1.45	5.6	0.55
3.6	1.39	5.8	0.46
3.8	1.31	6.0	0.37

評価マーク(×または△)がどの測定ポイントにも表示されていません。このような結果の場合には評価グレードを示す数値にS(危険)やP(注意)は表示されません。

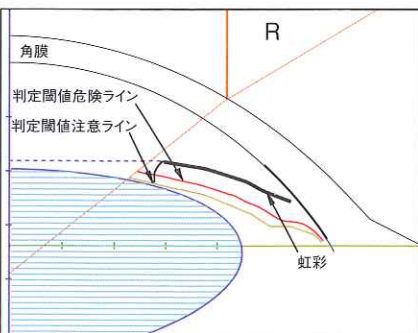
●Grade=5P



距離	深さ	距離	深さ
	[mm]		[mm]
0	2.3	△ 3.6	0.88
△ 1.6	1.38	△ 3.8	0.82
△ 1.8	1.29	△ 4.0	0.76
△ 2.0	1.20	× 4.2	0.66
△ 2.2	1.20	× 4.4	0.55
△ 2.4	1.19	× 4.6	0.48
2.6	1.18	× 4.8	0.41
2.8	1.17	△ 5.0	0.36
3.0	1.13	△ 5.2	0.30
3.2	1.08	5.4	0.27
3.4	0.98	5.6	0.24

評価マーク(×または△)のうち△マークを含む合計が8箇所以上の測定ポイントで表示されています。このような結果の場合には評価グレードを示す数値にP(注意)が表示されます。

●Grade=3S



距離	深さ	距離	深さ
	[mm]		[mm]
0	1.8	× 2.4	0.61
× 0.4	1.15	× 2.6	0.55
× 0.6	1.11	× 2.8	0.49
× 0.8	1.07	× 3.0	0.45
× 1.0	1.02	× 3.2	0.40
× 1.2	0.96	× 3.4	0.37
× 1.4	0.89	× 3.6	0.33
× 1.6	0.82	× 3.8	0.28
× 1.8	0.76	× 4.0	0.23
× 2.0	0.70	× 4.2	0.19
× 2.2	0.66	× 4.4	0.15

評価マーク(×)が8箇所以上の測定ポイントで表示されています。このような結果の場合には評価グレードを示す数値にS(危険)が表示されます。

注)判定結果は閉塞隅角緑内障発症の可能性を完全に判定するものではありません。

Scanning Peripheral Anterior Chamber Depth Analyzer

SPAC

閉塞隅角緑内障は
早期発見で予防的治療ができる緑内障です。



前房深度を非接触で定量的に測定

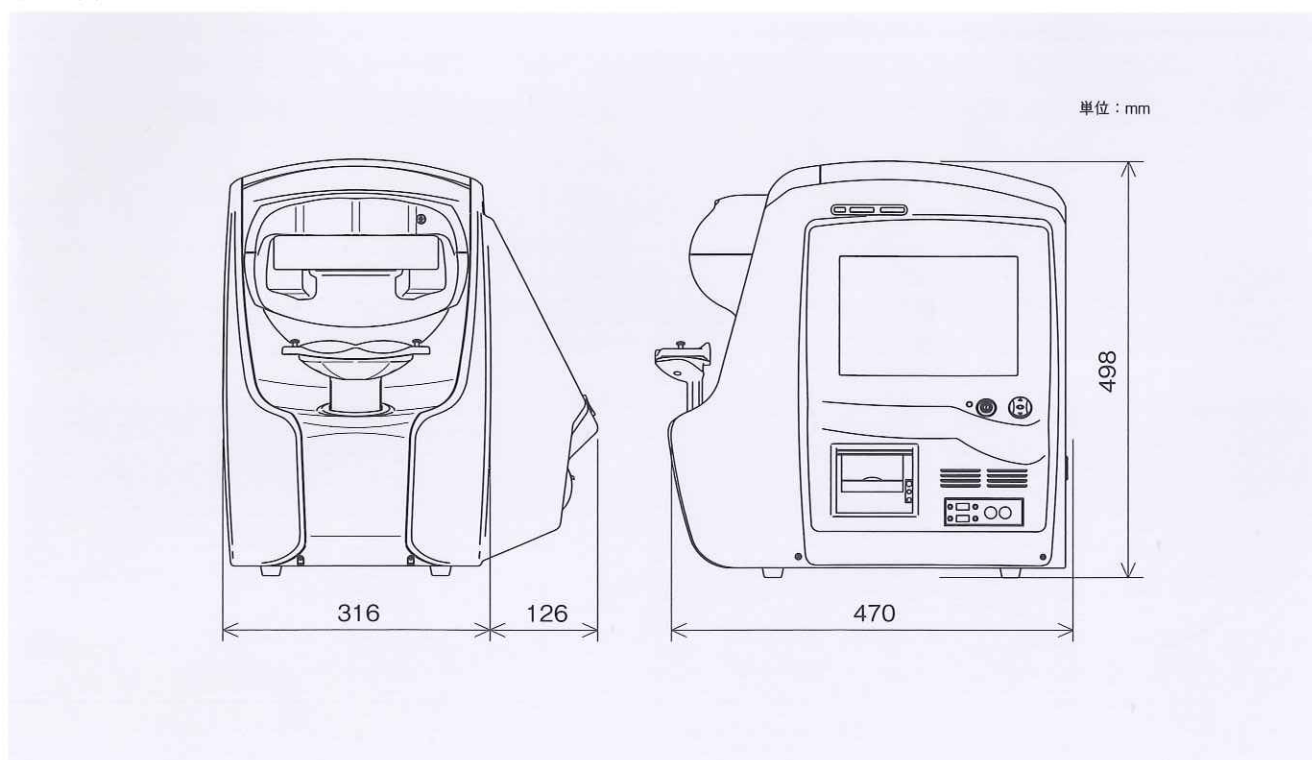
角膜中心から耳側周辺部へ連続的に前房深度を非接触で測定し、閉塞隅角緑内障の発症危険性を自動で評価することで、閉塞隅角緑内障眼若しくは閉塞隅角緑内障危険眼をスクリーニングすることができます。

仕様

販売名	走査式周辺前房深度計 SPAC
測定方法	走査型光学方式
測定項目	前房深度、角膜曲率半径、中心角膜厚
測定精度	前房深度 $\pm 0.1\text{mm}$ 角膜曲率半径 $\pm 0.05\text{mm}$ 中心角膜厚 $\pm 0.05\text{mm}$
解析項目	隅角角度、前房容積、虹彩曲率半径
顎台上下動範囲	70mm
電源電圧、周波数	AC100～230V 50/60Hz
電源入力	100VA
ヒューズ	3.15A
外形寸法	498(H)×442(W)×470(D)(mm)
重量	21kg



寸法図



●製品向上のためデザイン、仕様が本カタログと異なることがあります。

機械器具22 検眼用器具 16419000 眼撮影装置 管理医療機器 特定保守管理医療機器

株式会社 タカギセイコー

本社 〒383-8585 長野県中野市岩船330-2
TEL.(0269)22-4512 FAX.(0269)26-6321
大阪営業所 〒561-0834 大阪府豊中市庄内栄町3-24-5
TEL.(06)6334-4512 FAX.(06)6334-4521
<http://www.takagi-j.com>

認証番号 226AFBZX000076000